

【邑南野菜を使った新たな商品開発】における関係人口創出事業



takahaland-ohnan



活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・邑南野菜（西洋野菜）の出汁を使った新たな商品開発を矢上高校生と一緒に開発・販売する。 ・地元の商材を使った商品開発・販売に対して興味がある方
主催者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体たかはらんど（高原小学校・高原学園の存続を目的とした地域団体）
メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・たかはらんどの新商品開発に関して地元矢上高校とコラボしながら進めていきます。
日時	11月下旬頃予定
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・そば・うどんのたまき・邑南町内飲食店・アイタウンアベル惣菜コーナー・その他
参加費	なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・玉木製麺（出雲）・中央弁当（江津）・ミラノ亭（江津）・大野陶器店（大田） ・矢上高校食と農の研究会 ・食の学校 ・摘み樹ガーデン
WEBサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・ https://www.facebook.com/TAKAHALAND.OHNAN/

たかはらんど第4弾の商品開発の経緯

地域団体 たかはらんど とは

地域団体たかはらんどとは邑南町高原地区にて経済活動・教育活動・イベント企画運営などを担う地域団体です。

邑南町地区別戦略「高原を楽しくする会」から主に経済的な活動を中心にスピノフした地域団体(任意団体)です。

活動の目的は「高原を楽しくする会」同様【高原小学校・高原学園】の存続を目的としています。

名前の「たかはらんど」とは高原小学校学習発表会の別名でもあり未来永劫子供達の発表の場が続いて欲しいという願いと高原地区はどこに行っても面白いアミューズメントパークであるという想いが込められています。

【活動内容】

- ・イベント企画運営(肉を喰う会・山を喰う会・出羽合戦)
- ・地域の商材を使った商品開発・販売 IWAMI-AROMAプロジェクト(タカハラカツサンド・タカハラアイス・たのはらぼーる)
- ・循環型社会の活動(薪の製造販売)・空き家管理・その他

タカハラアイス



発売からわずか1か月で1000個を販売した商品。地元のファーム和田さんのピーズ、玉櫻酒造の酒粕を使い美容と健康に留意した商品となりました。

タカハラカツサンド



「肉を喰う会」にて大ヒットした「タカハラカツサンド」自社製造もしていますが(予約要)アイタウンアベルさんにて毎週土曜日限定で販売中です。

たのはらぼーる



「美味しい梅大福が作りたい」という地元のおじいさんの長年の夢を叶える為、高原地区田ノ原集落で栽培されている南高梅を使用し、静間松月堂さんで巨大な梅大福にしてみました。発売から1か月で約400個販売。

売上の一部を小学校・公民館に寄付



地域の課題・社会の課題解決へ

たかはらんど新商品第4弾としまして今回は邑南野菜を使った商品開発になります。

邑南野菜(西洋野菜)はとても美味しいです。それは恵まれた地形・気候・風土がもたらす自然の恵みであり私達の誇りでもあります。

しかし邑南野菜のポテンシャルはとても高いのですが、その反面世の中(市場)に出回らない様な規格外の野菜達も多く存在します。

味はA級品なのにも関わらず規格外品の為に廃棄される事も少なくありません。

そんな野菜達に光を当てるべく今回「ベジブロス(野菜出汁)」を開発し、美味しくて優しく体にもいいという商品作りが始まりました。

「生産者の想いを食卓へ届けたい。食卓をもっと美味しく」

今回のプロジェクトには島根県、玉木製麺さん(出雲市)、中弁当さん(江津市)、ミラノ亭さん(江津市)、大野陶器店さん(大田市)と町外から多くの協力者のもと邑南町、食の学校、矢上高校生、そして「たかはらんど」が地域の課題解決に集結し商品開発に挑戦します。

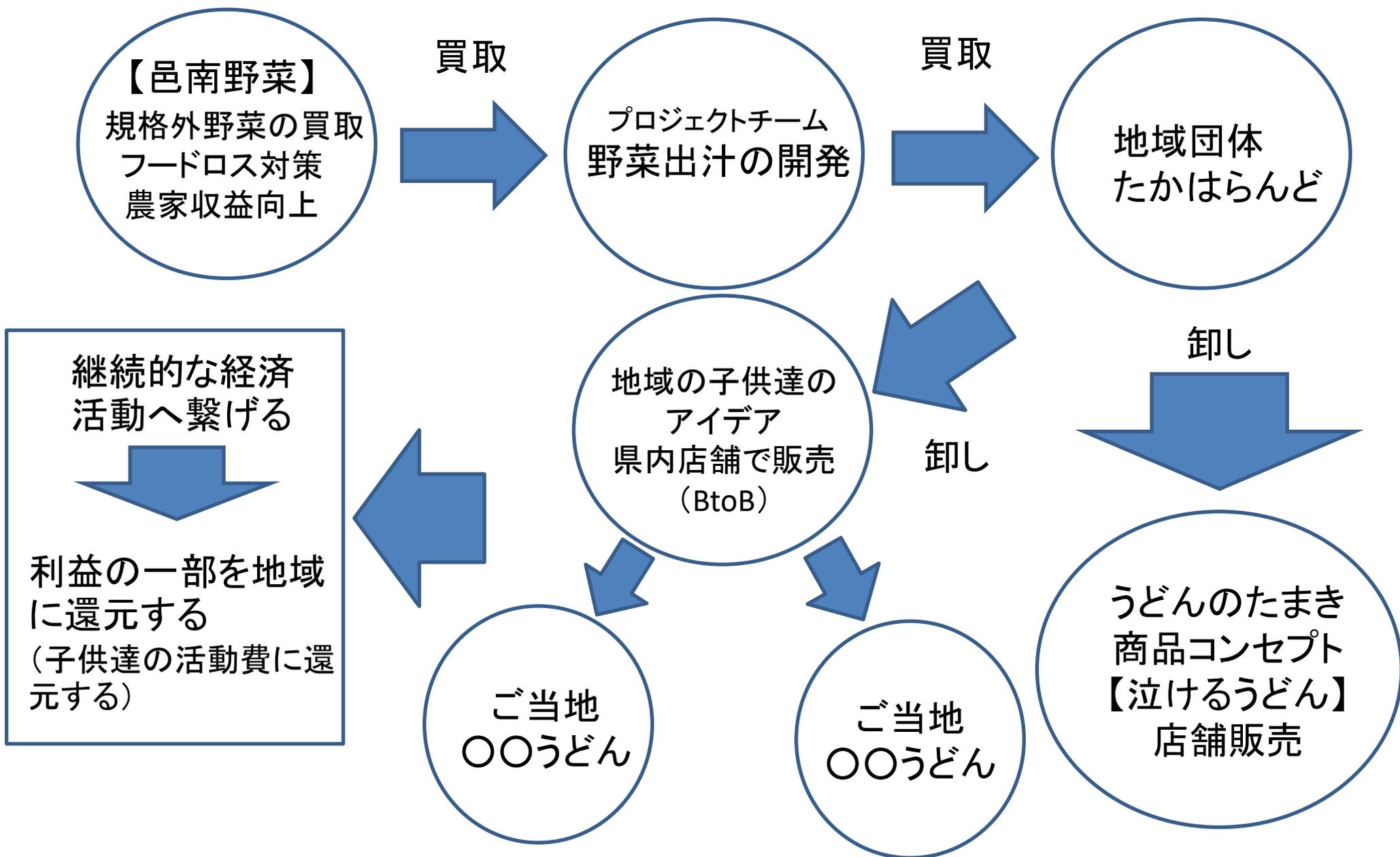
第4弾はズバリ「タカハラうどん」「邑南野菜出汁の●●●」

矢上高校生には野菜の生産だけでなく、販売形態、販売ルート、商品開発など第一線で活躍されていらっしゃる大人達と一緒にあって関わる事により、将来の関係人口に繋がっていかれたらと思います。

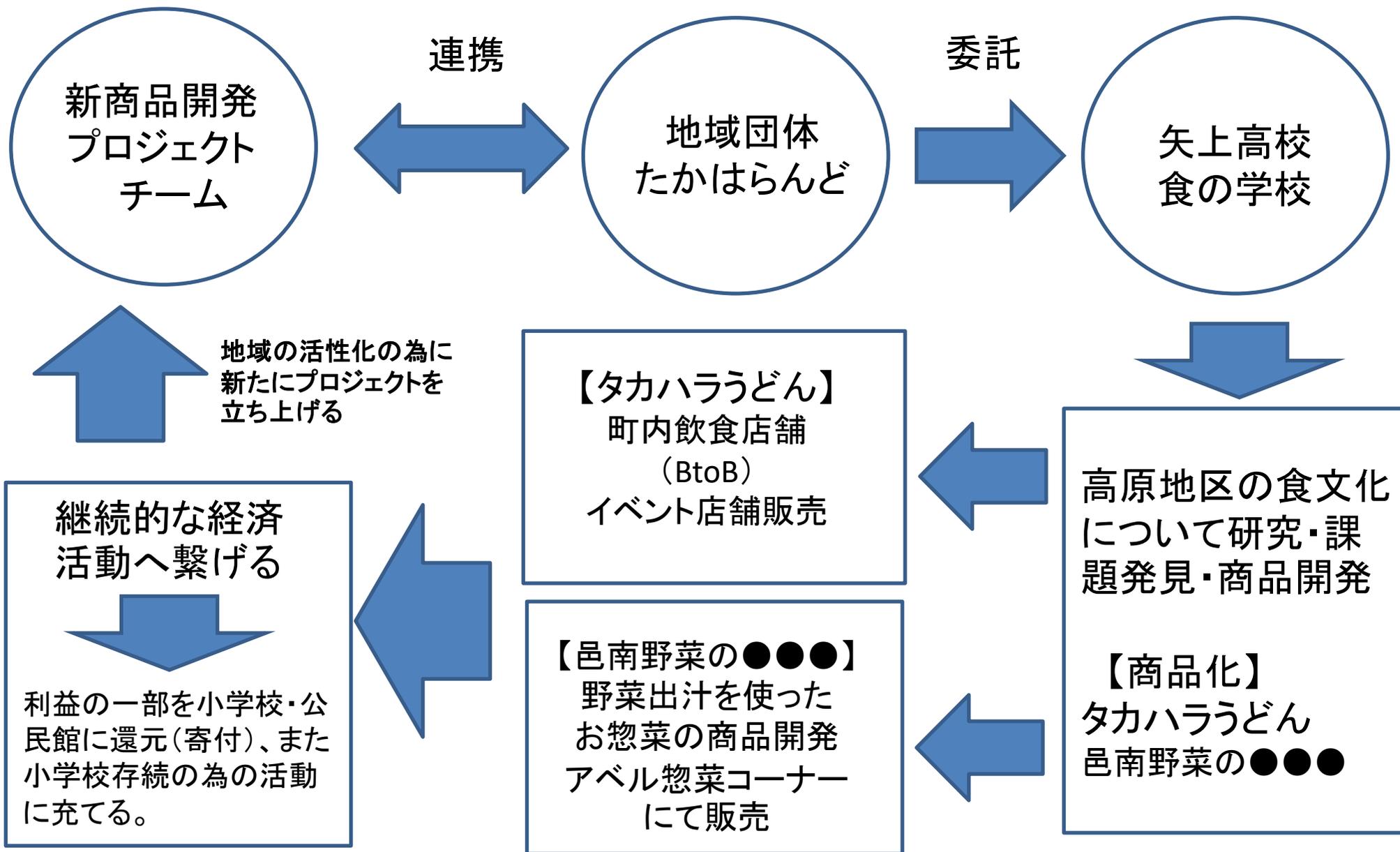
ポイント

- ・フードロス対策 ・ベジタリアンなど食文化対応 ・邑南野菜
- ・域内生産域内消費 ・農家所得向上 ・地域活性化 ・人財育成

「邑南野菜を使った新たな商品開発」の流れ(県内版)



「邑南野菜を使った新たな商品開発」の流れ(邑南町版)



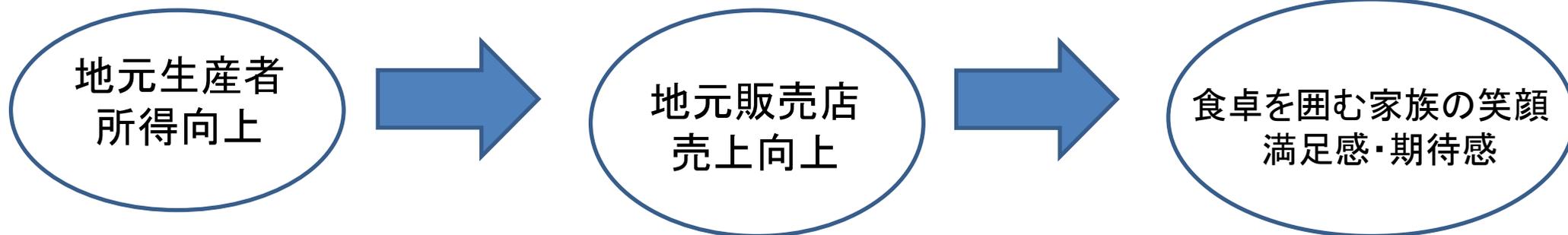
「邑南野菜を使った新たな商品開発」の流れ(まとめ)



自社商品に対する誇り

地元商品を販売する誇り

邑南町民としての誇り



関係するみんなの笑顔のサイクルを回しながら拡大していく